

北海道大学大学院情報科学院
令和5年度（第1期）学院 RA
申請調書

RAとして従事していただく職務内容を判断するために、現在進めている研究について下記の記載をお願いします。日本学術振興会特別研究員の研究計画調書と類似しており、同調書の内容を参考に記載していただいて構いません。なお、研究業績・活動実績を証明する書類の添付は不要です。

申請者	氏名		学年 (令和5年 4月現在)	DC年
-----	----	--	----------------------	-----

※指導教員は、本調書の記載内容を確認の上、誤り等が無ければ、署名又は押印願います。

指導教員 (推薦者)	氏名 (署名)	⑩ 自署の場合は押印不要	職名	
---------------	------------	-----------------	----	--

1. 【研究計画】 ※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

(1) 研究の位置づけ

情報科学院 RAとして取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

【研究計画】（続き） ※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、各事項の字数制限はありませんが、全体で2頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

(2) 研究目的・内容等

- ① 情報科学院 RA として取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。
- ③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。
- ④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。
- ⑤ 研究計画の期間中に北海道大学以外の研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

(研究目的・内容等の続き)

2. 人権の保護及び法令等の遵守への対応 ※本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

本欄には、「1. 研究計画」を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記入してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。

なお、該当しない場合には、その旨記入してください。

3. 【目指す研究者像等】 ※各事項の字数制限はありませんが、全体で1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可
情報科学院 RA 制度は、学生の教育・研究環境の充実を図るとともに、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的としています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」、(2)「目指す研究者像に向けて情報科学院 RA の採用期間中に行う研究活動の位置づけ」を記入してください。

(1) 目指す研究者像 ※目指す研究者像に向けて身に付けるべき資質も含め記入してください。

(2) 上記の「目指す研究者像」に向けて、情報科学院 RA の採用期間中に行う研究活動の位置づけ

4. 第一著者として発表した研究業績・活動実績（令和2・3・4年度）

申請者にアンダーラインを付して、年度ごとに分けて記載すること。

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等を除く）に発表した原著論文、著書（査読があるもので、印刷済及び令和5年3月31日までに採録決定済のものに限る）

(1-1) 学術雑誌等（紀要・論文集等を除く）に発表した原著論文、著書で査読があるもの（フルペーパー）

著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載する）、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁ー最終頁、発行年をこの順で記入すること。学術雑誌として認めるレター誌リスト（別添 list_of_letters_2023.pdf）に記載のレター誌は、ここに記述すること。

令和4年度

令和3年度

令和2年度

(1-2) 学術雑誌等（紀要・論文集等を除く）に発表した原著論文、著書で査読があるもの（レター）

著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載する）、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁ー最終頁、発行年をこの順で記入すること。学術雑誌として認めるレター誌リスト（別添 list_of_letters_2023.pdf）に記載のレター誌は、(1-1)に記述すること。

令和4年度

令和3年度

令和2年度

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

令和4年度

令和3年度

令和2年度

(3) 国際会議における発表（会議録(プロシーディング)があるもので、令和5年3月31日までに発表したものに限る）

(3-1) 国際会議における発表（フルペーパー査読有）

口頭・ポスターの別を区分して、著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載する）、題名、プロシーディングス等名称、巻号または論文等の番号、場所、月・年を記載すること。発表者に○印を付すこと。

採択率がわかる会議については、採択率を記述すること（おおよその値で良い）。

ただし、国際会議の特集号の原著論文（査読者との対話が可能な査読プロセスを経たもの）として論文誌・学術誌等に掲載されたものは上記の(1-1)または(1-2)に記載すること。

口頭発表

令和4年度

令和3年度

令和2年度

ポスター発表

令和4年度

令和3年度

令和2年度

(3-2) 国際会議における発表（アブストラクト査読有、または査読無）

口頭・ポスターの別を区分して、著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載する）、題名、プロシーディングス等名称、巻号または論文等の番号、場所、月・年を記載すること。発表者に○印を付すこと。

口頭発表

令和4年度

令和3年度

令和 2 年度

ポスター発表

令和 4 年度

令和 3 年度

令和 2 年度

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表（令和 5 年 3 月 31 日までに発表したものに限る）

(4-1) 国内学会・シンポジウム等における発表（フルペーパー査読有）

(3-1)と同様に記載すること。

口頭発表

令和 4 年度

令和 3 年度

令和 2 年度

ポスター発表

令和 4 年度

令和 3 年度

令和 2 年度

(4-2) 国内学会・シンポジウム等における発表（アブストラクト査読有、または査読無）

(3-2)と同様に記載すること。

口頭発表

令和4年度

令和3年度

令和2年度

ポスター発表

令和4年度

令和3年度

令和2年度

(5) 特許等

申請中、公開中、取得を明記すること。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみでよい。

令和4年度

令和3年度

令和2年度

(6-1) 受賞歴（国際）（令和5年3月31日までの受賞歴）

外部からの評価がある賞に限る。国内で開催された国際会議での受賞は、こちらに含める。

令和4年度

令和3年度

令和2年度

(6-2) 受賞歴（国内）（令和5年3月31日までの受賞歴）

外部からの評価がある賞に限る。国内で開催された国際会議での受賞は、受賞（国際）（6-1）に含める。

令和4年度

令和3年度

令和2年度

(7-1) その他顕著な業績（国際）

令和4年度

令和3年度

令和2年度

(7-2) その他顕著な業績（国内）

令和4年度

令和3年度

令和2年度

(8) 第一著者として発表した業績の件数

第一著者として発表した業績の件数を年度ごとに入力すること。

		R2 年度	R3 年度	R4 年度	計
1-1	論文（査読あり）フルペーパー				
1-2	論文（査読あり）レター				
2	学術雑誌等又は商業誌における解説・総説				
3-1	国際会議における発表（フルペーパー査読有）				
3-2	国際会議における発表（アブストラクト査読有または査読無）				
4-1	国内学会等における発表（フルペーパー査読有）				
4-2	国内学会等における発表（アブストラクト査読有または査読無）				
5	特許等				
6-1	受賞歴（国際）				
6-2	受賞歴（国内）				
7-1	その他顕著な業績（国際）				
7-2	その他顕著な業績（国内）				